

## お客様本位の業務運営に関する取組状況

2023年6月30日

しんきんアセットマネジメント投信株式会社

当社は、2017年11月に制定した「お客様本位の業務運営に関する取組方針」および「お客様本位の業務運営に関するアクションプラン」に基づき、お客様本位の業務運営に向けた取組みを推進しております。

2022年度における取組みについて、次のとおりご報告させていただきます。

### 1. お客様の最善の利益の追求

- 当社は、2022年度からスタートした中期経営計画（2022～2024年度）において、2030年までに我が国資産運用業界において高い信頼性を得ること等を目指し、お客様の最善の利益を追求するための業務運営の徹底を図っております。具体的には、お客様の資産運用に資する商品および情報の提供を強化するとともに、資産運用力のレベルアップ等課題解決能力の向上にも努めております。また、お客様へのサービス向上の基盤となる内部態勢の整備も併せて実施しております。
- 投資先企業との建設的な「目的を持った対話」の強化を目指し、Webや電話による方法を含めた企業との個別ミーティングの実施等、積極的にエンゲージメント活動を実施するとともに、適切な議決権行使を通じて投資先企業の価値向上に努めています。なお、議決権行使の結果については、当社ホームページにおいて四半期ごとに個別開示を実施しております。

#### <企業対話数>

2020年度	2021年度	2022年度
115社 221回	108社 194回	112社 195回

- 運用手法等に関する調査・研究を継続的に実施しており、運用ノウハウの改善および向上に資するため、運用対象・手法に関する情報収集に努めるとともに、当該情報を運用会議において報告するなど、運用部門内で常に共有される体制を敷いております。
- 一部資産にESGを考慮した運用プロセスを導入するなど、ESG投資への取組みを進めております。
- 商品品質の維持・向上のため、運用部門から独立したリスク管理部門である経営管理部が、日次・月次で運用内容をモニタリングし、モニタリング結果を月次でコンプライアンス・運用管理委員会に報告しております。

また、パフォーマンス評価については、月次で投資政策委員会に報告しております。

※コンプライアンス・運用管理委員会

当社のコンプライアンス、信託財産の運用リスクおよび事務リスクの管理に関する重要事項の決定機関

※投資政策委員会

当社の運用業務に係る基本的な事項である運用方針、運用戦略および商品開発に関する重要事項の決定機関

- ・お客様にとって最良の条件で取引を執行するため、ブローカーの選定および評価によって設定した発注・引合目標値に基づき管理しております。
- ・「責任ある機関投資家」の諸原則《日本版スチュワードシップ・コード》への取組方針を定め、年1回スチュワードシップ活動の自己評価を行い、ホームページに公開しております。
- ・適切に議決権を行使し、お客様の利益を図るため、剰余金処分に係る配当基準の追加および変更、取締役の選解任に係る配当基準の追加等、2023年度以降の議決権行使に係る判断基準の見直しを実施しております。
- ・責任投資への取組みを強化・推進するため、2022年7月に責任投資推進室を創設するなど、社内体制の整備を実施しております。

## 2. 利益相反の適切な管理

- ・お客様と当社等の利益相反を適切に管理するため、利益相反のおそれのある取引の類型および当該取引を特定するプロセス等を含む「利益相反管理規程」を制定し、その概要を「利益相反管理方針」としてホームページに公表しており、当該方針に沿って適切に管理しております。また、利益相反管理に係る知識水準を維持、向上させるため、全役職員に対し研修を実施しております。

## 3. 手数料の明確化

- ・交付目論見書において、お客様が直接的および間接的に負担する費用を開示するとともに、請求目論見書にも手数料等および税金を明確に記載し、各々の目論見書を当社ホームページに掲載しております。また、販売用資料においても、交付目論見書と同様に費用等を記載し、運用報告書には、経費率に係る表および円グラフを記載するなど、経費率の開示を実施しております。

## 4. 重要な情報の分かりやすい提供

- ・商品の複雑性や情報の重要性等を踏まえ、重要な情報については表示方法を強調し、必要に応じて内容に係る図表を使用するなど、お客様にとって分かりやすい資料による情報提供を行っております。

- ・お客様が同種の商品との比較を容易に行えるよう、組成した商品に係るリスク・リターン、想定する顧客属性の情報等を販売会社へ提供するなど、販売会社を通じたお客様への情報提供に努めております。
- ・国内外市場の動向や政治・経済情勢のタイムリーな情報等をお客様にお届けするため、「投資環境」（当社ストラテジストが執筆するマーケット動向や投資戦略等についてのレポート）、「トピックス」（当社エコノミストが執筆する内外経済動向、金融政策および政治動向についてのレポート）を発信しております。

<発信回数>

	2020年度	2021年度	2022年度
投資環境	37回	41回	40回
トピックス	51回	54回	50回

#### 5. お客様に最適な商品・サービスの提供

- ・販売会社への訪問およびオンラインミーティング等を通じて、お客様の運用ニーズを把握し、お客様の意向やライフプラン等を踏まえた、多様なニーズに応える商品・サービスの提供に努めております。
- ・商品ラインアップの拡充の一環として、MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）の動きに連動する運用を目指す追加型公募投信「しんきん全世界株式インデックスファンド」およびISEクリーン・エッジ・ウォーター指数（配当込み、円換算ベース）の動きに連動する運用を目指す追加型公募投信「しんきん米国ウォーターファンド」を2022年10月に設定しております。
- ・商品の組成に当たっては、商品特性を踏まえ販売対象として想定する顧客属性を特定し、当該顧客属性に係る情報提供を販売会社に行うなど、お客様に対し適切な販売が行われるよう販売会社をサポートしております。
- ・お客様の金融取引に関する知識向上や投資判断に役立つ情報を提供するため、お客様を対象にした資産運用セミナーに講師を派遣するとともに、販売会社の投信窓販担当者を対象とした勉強会への資料提供および講師派遣を行っております。これらのセミナーおよび勉強会は、オンラインでも行っており、また、当社ホームページに市況・マーケット情報および商品概要の動画を掲載するなど、お客様への情報提供の強化に努めております。

<講師派遣回数>

	2020年度	2021年度	2022年度
お客様向け資産運用セミナー	21回	32回	62回
投信窓販担当者向け勉強会	174回	294回	341回

6. お客様本位の業務運営を徹底するための枠組みの整備

- ・当社が制定した「お客様本位の業務運営に関する取組方針」および「お客様本位の業務運営に関するアクションプラン」について、全役職員に対し研修を実施しており、お客様本位の業務運営の徹底を図っております。

(注) 当社は、投資信託等の商品を組成し、お客様からお預かりした資金の運用を行う運用会社です。お客様へ直接の商品販売は行っていませんが、当社の商品を販売する販売会社に向けて情報提供等を行い、お客様の最善の利益の追求に努めています。